



病診連携の考え方

様々な病気を診ていくにあたって**病診連携はとても重要**になります。当クリニックは手術設備を持たないため、白内障手術は、近隣施設や有名病院などへ紹介状を書いております。手術の内容によって得意、不得意がありますので、通院しやすさ、入院設備の有無、術者の熟練度などを考えながら紹介先を提案いたします。

また、特殊な検査や先進的な治療が必要な疾患もあります。幸いなことに東京には多くの大学病院を始めとした専門病院が存在し、受診することができます。疾患によって、強い病院がありますので、その病院と連携をしていくことが重要です。

当クリニックの役目として、**患者目線に立ったアドバイス、助言も重要**だと考えております。すべての病気が専門病院での治療だけで完結するわけではなく、経過をみて維持、管理をしていくことも重要な役割だと考えております。その際には、患者目線での医療を主眼にしたいと思います。

連携病院（実績）

都立大塚病院（新大塚駅）
日大板橋病院（板橋区・大山）
日本大学病院（御茶ノ水）
東大病院（本郷）
東京医科歯科大病院（御茶ノ水）
帝京大学病院（板橋区・加賀）
東京医大病院（西新宿）
東京歯科大病院（水道橋）
秋葉原白内障クリニック（秋葉原）
大沢眼科（サンシャイン内）

ヒノキ花粉症

スギ花粉のピークは過ぎ、花粉飛散量は徐々に終息してきておりますが、今度はヒノキ花粉が飛散し始めます。すでに東京都福祉保健局の公表データによると3月中旬頃から北区での観測で飛散が確認されております。4月中旬位にはピークを迎えるようです。



スギ花粉アレルギーがある方の70%はヒノキ花粉にも反応するといわれております。まだまだ、花粉対策を緩めずに気をつけましょう。